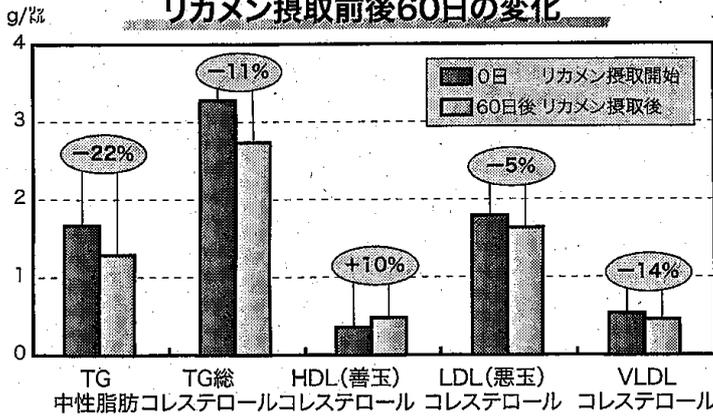


リカメン摂取前後60日の変化



長期試験で効果と安全性確認

ニュートリション・アクト 魚由来発酵物「リカメン」

108人の被験者に11年わたって経口摂取し、臨床データを取得しているのが、魚由来の発酵物「リカメン」。

健康食品・化粧品、製造や、素材の輸入販売などを行うニュートリション・アクト(本社東京、石川雅仁CEO、電話03-5475-1731)が提案している。『リカメン』はタラ科の食用魚「リングフィッシュ」の頭部・内臓を、自身の持つ酵素で加水分解させることによりつくった自己発酵物。低分子ペプチドが成分組成の66%を占め、非常に多く含まれているのが特徴だ。11年間の長期摂取試験では、LDL(悪玉)コレステロールや総コレステロール、中性脂肪、血圧などの値が軒並み下がった一方、HDL(善玉)コレステロールの値が上昇した。摂取試験が長期にわたっていることから、同素材の安全性も確認された格好となっている。

また、40人のアテローム性(血管の内側に粥状の隆起が発生する)の血栓症ハイリスク者を対象に360日間行った経口投与試験では、平均頸動脈IMT(動脈壁の厚さ、値が小さいほど改善を示す)が、プラセボ群に比べ大幅に改善した。180日後でプラセボ群比7%減に、360日後には同13%減になった。運動パフォーマンスの改善や抗ストレスに資する旨のヒト試験データも取得している。